



Y.Hatanaka

THE NIIGATA NISAI STAKES

第45回 新潟2歳ステークス (GIII)

本賞	1着	2着	3着	4着	5着
付加賞	31,000,000円	12,000,000円	7,800,000円	4,700,000円	3,100,000円
	357,000円	102,000円	51,000円		



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

2歳
負担重量 馬齢重量

2025.8.24 新潟 晴・良 芝1600m (国際) (特指)

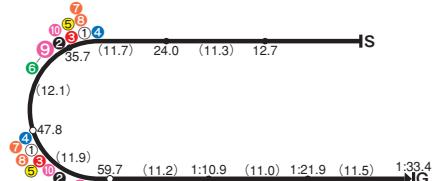
順位	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム	コナー	上り	馬体重	単勝	オッズ	調教師	レーティング
1	⑨	アライズシリウス	牡2	55	津村明秀	1:33.4	2-2	33.4	518(+6)	2.31	手塚貴久(美浦)	109	
2	③	タイセイボーグ	牝2	55	田口貴太	4	5-5	33.1	468(-8)	12.7⑥	松下武士(栗東)	101	
3	④	フェスティバルヒル	牝2	55	石橋 脩	ハナ	10-9	32.5	450(+12)	4.4③	四位洋文(栗東)	101	
4	⑧	サンアントワース	牝2	55	岩田望来	1	7-7	33.0	458(+6)	8.1④	鹿戸雄一(美浦)	99	
5	⑩	タイセイフレッサ	牝2	55	斎藤 新	%	3-4	33.4	462(±0)	35.2⑦	斎藤 誠(美浦)		
6	⑦	サノノグレーター	牡2	55	横山疏人	2½	7-9	33.2	464(-2)	4.3②	尾形和幸(美浦)		
7	⑥	フォトングレイサー	牡2	55	木幡巧也	2	1-1	35.4	428(±0)	180.1⑩	牧 光二(美浦)		
8	⑤	ヒルデグリム	牝2	55	石川裕紀人	%	5-5	34.1	448(-2)	9.2⑤	小野次郎(美浦)		
9	②	リネンタイリン	牡2	55	柴田大知	ハナ	3-3	34.6	464(±0)	94.3⑨	南田美知雄(美浦)		
10	①	メーゼ	牝2	55	菊沢一樹	9	7-7	35.4	430(-14)	64.8⑧	菊沢隆徳(美浦)		

単勝①230円(1^%) 複勝①120円(1^%) ③230円(6^%) ④150円(3^%) 枠連③-⑥①1,400円(6^%)

馬連③-⑨1,650円(7^%) ワイド③-⑨500円(6^%) ④-⑨260円(2^%) ③-④700円(12^%)

馬單③-⑨2,260円(7^%) 3連複③-④-⑨2,040円(7^%) 3連単③-③-④10,290円(35^%)

5重勝⑩⑫①⑤⑨309,860円(1,490票) 対象競走：札幌10R／新潟10R／中京11R／札幌11R／新潟11R



通過タイム： 600m 800m 1000m 上り： 800m 600m

35.7 - 47.8 - 59.7 - 11.2 - 1:10.9 - 11.0 - 1:21.9 - 11.5 - 45.6 - 33.7

アラカルト

- 津村明秀騎手は新潟2歳S初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算20勝目
- 手塚貴久調教師は新潟2歳S初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算40勝目
- ボエティックフレア産駒はJRA重賞初勝利
- 新種牡馬産駒の勝利は10年マイネイサヘル(父テレグノシス)以来15年ぶり、通算7回目(グレード制を導入した84年以降)
- 芦毛馬の勝利は初
- アライズシリウスの馬体重518kgは08年セインウンダーの504kgを更新する本競走優勝馬の最高馬体重記録

リアライズシリウス Realize Sirius

牡 芦毛 2023.3.14生
北海道千歳市 社台ファーム生産
馬主・今福洋介氏 美浦・手塚貴久厩舎
馬名意味・冠名+恒星名(太陽以外で1番明るい星)

ダンスーズデトワールFR系 F13-b		
ポエティックフレアIRE Poetic Flare 鹿毛 2018	Dawn Approach 栗毛 2010	New Approach
	Hymn of the Dawn	
	Maria Lee 鹿毛 2007	Rock of Gibraltar Elida
レッドミラベル 芦毛 2014	ステイゴールド 黒鹿毛 1994	サンデーサイレンスUSA ゴールデンシッシャン
	ダンスーズデトワールFR 芦毛 1999	Highest Honor Latifolia

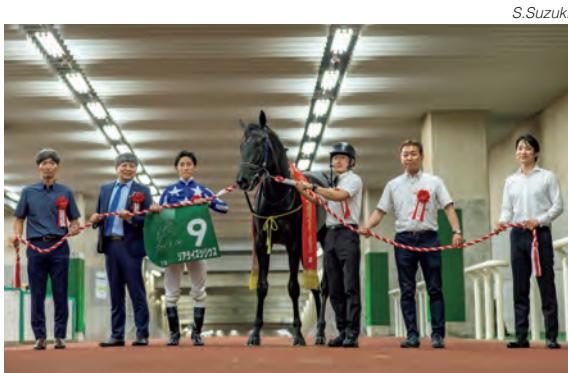
5代までのインブリードなし

INTERVIEW

東礼治郎場長(社台ファーム)

高まる期待は抑えきません

デビュー戦の結果には素直に胸がときめきました。ただ、今回は勝った馬同士の戦いでし「展開を含めてどんなレースを見せてくれるか」という気持ちもありました。このパフォーマンスを見てしまうと高まる期待は抑えきません。牝系の力もありますし、大レースの勝ち方を知る厩舎の下でさらにパワーアップを図り、今後も堂々と強敵たちと渡り合ってほしいです。



S.Suzuki

父ボエティックフレアは英G2000G1を2勝した名マイラー。3歳限りで引退し、翌年から日本で種牡馬入りした経歴を持つ。その初年度産駒にあたり、東京・芝1600mの新馬戦7馬身差で逃げ切って「大物出現」と脚光を浴びた本馬は、初戦とは異なり2番手を追走する形となつたこの日も、父譲りの非凡なスピードを大いにアピール。14年にミュゼルタンが記録したレースレコードに肩を並べたうえ、2歳のコースレコードにも0秒1差と迫る好時計で圧勝し、今年の新種牡馬

父ボエティックフレアIRE

英、愛、仏11戦5勝(英2000ギニーG1、セントジェームズパレスS・英G1、キラヴァーランS・愛G3、レパーズタウン2000ギニートライアルS・愛L、愛2000ギニーG12着、サセックスS・英G12着、ジャックルマロワ賞・仏G12着)、22年から供用〔代表産駒〕リアライズシリウス(本馬)

母レッドミラベル

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央11戦1勝、地方2戦0勝
ルージュメイベル(20 牝父ハービンジャーGB)中央8戦0勝、地方16戦0勝

ナリタエスピワール(21 牝父サトノクラウン)不出走

ランツフート(22 牝父ブリックスアンドモルタルUSA)中央5戦1勝(④)

リアライズシリウス 本馬(23 牝父ボエティックフレアIRE)中央2戦2勝(新潟2歳S③)獲得総賞金38,857,000円

(24 牝父ベンバトルGB)

(25 牝父カフェラオUSA)

祖母ダンスーズデトワールFR

仏1勝(マルセルブーサック賞G12着、イソラベラ賞・L2着、ヤコウレフ賞・L3着)、04年輸入、20年用途変更

ステージフレゼンス(07 牝父アグネスタキオン)中央2勝(糸魚川特別、きさらぎ賞G33着)、地方34戦4勝

ルルーシュ(08 牝父ゼンノロブロイ)中央6勝(アルゼンチン共和国杯GII、札幌日経オーブン④、江の島特別、石和特別、目黒記念GII2着、巴賞②着、アルゼンチン共和国杯GII3着)

オメガホームラン(09 雄父ダイワメジャー)中央3勝(ジュニアC④、クロバー賞④3着)、地方0勝

レッドシルヴィ(13 牝父ヴィクトワールビサ)中央4勝

レッドミラベル(14 前出)

曾祖母ラティフィリア Latifolia

イギリス産 英0勝

ダンスーズデトワールFR(99 前出)

ウォッチアウト Watch Out(06 牝父Rock of Gibraltar)仏2勝、イサリス Isalys(クリトリウムデュベケット・仏L2着)の祖母

母の父ステイゴールド

北海道白老産 中央、香、首7勝(香港ヴァーズG1、ドバイシーマクラシック・首G2)〔BMS代表産駒〕ヘントートル(天皇賞(春)G1、父ルーラーシップ)、アランバローズ(全日本2歳優駿Jn I、父ヘニヒューズUSA)

2021年のセリフオス、23年のアスコリピチエーノをはじめ、このレスの勝利を大きな飛躍へ繋げた馬も多い新潟2歳Sからは、今年も高い将来性を感じさせる素質馬が名乗りをあげた。単勝2・3倍と断然の支持を集めたりライズシリウスが堂々の走りを披露。新馬戦に続いてワンサイドの圧勝劇を演じ、無傷の2連勝を飾った。フォトンデイギーが先導役を務めたリアライズシリウスが、スタートで立ち遅れたものの、すぐに行き脚がついてスピードに乗った馬と呼吸を合わせ、離れた2番手に腰を落ち着ける。東京・芝1600mの初陣

勝利を収め、2連勝を達成した。

脚勝負に構えた。

単騎で逃げたフォトンデイギーは直

線に向くと馬場の内めへ。対して津村

騎手は傷みが少ない真ん中へ進路を取

り、スパートにかかる。残り400m

地点を過ぎて先頭に立ったリアライズ

シリウスは、後続の反撃をまったく寄せ付けず、独走。僅差の2着争いを繰り広げたタイセイボグとフェステイ

バルビルに4馬身差をつけ、悠々とゴールを駆け抜けた。

父ボエティックフレアは英G2000

G1を2勝した名マイラー。3歳限り

で引退し、翌年から日本で種牡馬入り

した経歴を持つ。その初年度産駒にあ

り、東京・芝1600mの新馬戦7馬身差で逃げ切って「大物出現」と

脚光を浴びた本馬は、初戦とは異なり

2番手を追走する形となつたこの日も、父譲りの非凡なスピードを大いにアピール。

14年にミュゼルタンが記録したレースレコードに肩を並べたうえ、

2歳のコースレコードにも0秒1差と

迫る好時計で圧勝し、今年の新種牡馬

を豪快に差し切り、2番人気に支持されたサノングレーターは後方馬群の外

を追走。阪神・芝1600mの新馬戦

から駒を進めてきたミユージアムマイ

ルの半妹、3番人気の支持を集めたフ

エスティバルヒルも折り合いに専念し

てジワジワと位置を下げ、最後方で末

新種牡馬産駒が、重賞一番乗り!!